



## 卵を抱いている3種のペンギン



ジェンツーペンギン



アデリーペンギン



ヒゲペンギン

## 展示面から見やすい“卵を抱いたペンギンの場所”



擬岩の上にいるアデリーペンギン(2か所)

水槽中央にいるヒゲペンギン

これから卵ラッシュの予感!?

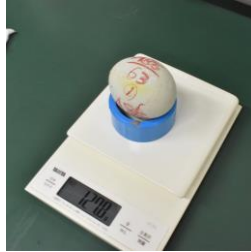
# 3種類でそれぞれ卵を確認! ジェンツー、アデリー、ヒゲ 皆様お待たせしました

## ペンギンが卵を産んだらやること

- 産卵を確認したら一度回収し、卵の計測を行う。計測が終わったら卵は親に返す。実施項目は3つ。
- ①どのペアが産んだ卵か分かるように色鉛筆でマーク
  - ②卵の重さを量る
  - ③卵の大きさ(長径・短径)を測る



①卵にマーキング



②卵の重さを量る



③卵の大きさ(長径・短径)を測る

**今年も無事に産卵を確認**

南館ペンギン水槽内で繁殖シーズンを迎えているジェンツーペンギン、アデリーペンギン、ヒゲペンギンの3種が10月にそれぞれ産卵していることが飼育係によって確認された。産まれた卵はオスとメスが交代で温めている。順調にいくと11月にはヒナの姿が見られる予定。産卵はまだ続くようでも今後ペンギン水槽から目が離せない。

おまけ情報その1  
卵は2個産む!

ペンギンは基本的に卵を2個産む(例外として、エンペラーペンギン、キングペンギンは1個)。

ただ、同時に産むわけではなく、1個目の産卵の3〜4日後に2個目の産卵がある。1個目の卵は2個目の卵が産まれるまであまり温めないようだが、これは2個の卵がふ化するタイミングを合わせるためと考えられている。

実際に1個目の卵を飼育係が回収するとひんやりしており、2個目の卵の回収時には温かったという体験談も。

おまけ情報その2  
卵は徐々に軽くなる!?

ほとんどの鳥類では産んだ時点からふ化するまでに15%ほど卵が軽くなる。これは卵の表面に無数の小さな蒸発する穴から水分が蒸発するため。これは物理的な現象なので卵の重さは直線的に減少する。実はこの減少率が非常に重要。ふ化が成功する際にはこの卵の重量が適度に減少しなければいけない。そこで、飼育係が定期的に卵を回収して卵の重さを調べることも。

担当飼育係の声

卵を調べるために飼育係が親から卵を回収するときはペンギンも必死に抵抗してくるので誤って卵が割れないように気を付けて掃除のときも卵へ水をかけないように気をつけたりと神経を使う毎日。ペンギン3種のヒナが無事ふ化するよう万全のサポート体制で臨んでいきたい。

△その他情報▽  
卵を抱いている姿がよく見えるように展示面上部に設置されている2台のモニターには卵を温めているアデリーペンギンの巣をズームした映像が流れている。この映像は水族館ホームページから視聴できるライブ配信でも見ることができ